

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

ただいま議長より登壇の許可をいただきましたので、通告に従い、2番議員の一般質問を始めさせていただきます。

現在の国、地方自治体を含めた厳しい財政状況において、佐賀西部地区、いや、北部九州の西の交通の拠点として、また温泉、陶磁器、自然を生かした食を含めた観光資源にあふれ、高い潜在能力、ポテンシャルを秘めた武雄市を今後どう発展、前進させていくかが、樋渡市長を初めとする執行部の皆さんと我々議員に与えられた共通の課題であり、市民の幸せへと、そして恒久の平和を望むところは同じベクトルを向いているものと信じるものであります。使い古された表現ではございますが、議会と執行部はよく車の両輪に例えられます。つかず離れず、今後任期の4年間、いい意味での緊張感を保ちつつ、互いが市民のために十分に議論を交わし、民主主義にのっとり議会が運営されることを望むものです。

それでは、大項目として一つ目に教育環境について、二つ目に商工、地方の振興について、そして最後に、末端行政について質問をさせていただきます。

冒頭より暗い表現となってしまいますが、昨今の新聞やニュースで飛び込んでくる事件には、親が我が子を、子が我が親を傷つける、また、幼い未来のある子供たちをねらって傷つけるという、大変陰惨で殺伐としたものが後を絶ちません。

先日、25番議員が質問の際、申し上げたように、防犯、特に児童を犯罪から守る安全管理の問題は現在の社会において最重要の課題として、私も山内の町議会の場で質問をさせていただいてまいりました。私も、小学校に通う低学年の児童を子に持つ親の一人として、大変憂慮するところでございます。我々が幼かったころにも声かけや不審者、変質者などの出没は多少なりとも発生はしてはりましたが、現在は、それらがそのまま大きな事件へとつながり、地方の田舎だからと、私たちに関係ないという図式は成り立ちません。

また、2年ほど前となる、奈良の当時小学校1年生殺傷事件が発生し、被害児童の親御さんの携帯電話に写真入りのメールを送りつけるという人間のものとは思えない卑劣きわまりない犯行が、社会の多くの人の憤りを呼びました。また、この事件の捜査の際、児童が携帯していた携帯電話のGPSシステムが取りざたされたことも記憶の一部として残っております。

これ以後、児童にポケットベルを携帯させることや、PTAを初めとする多くの大人たちのグループ、団体が、子供たちを守ろうとするパトロールや啓蒙が全国的に進んだのではないのでしょうか。

当武雄市は、防犯に対する意識が高いとの評価もあるように、防犯協会主催の防犯ボランティア研修会も開かれたり、先ほども執行部より説明がございましたとおり、青色回転灯を装着した公用車でのパトロールも行っています。学校や児童の親のみならず、地域のみならず子供たちを守っていこうという機運が高まり、ありがたい、喜ばしいことでご

ざいます。

しかしながら、問題点がないわけでもなく、高齢者の方などが事件、事故に巻き込まれたりすることの想定や、これからの110番の家のあり方、個人情報の保護の観点から児童の認知が地域の人たちにあいまいなことなど、解決、改善すべきところは多々あります。

最初に、安全管理に対する現状と問題点について見解を求めたいと思います。よろしくお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

庭木教育長

庭木教育長〔登壇〕

まず初めに、この席からではございますが、市民の皆様方にお礼を申し上げたいと思います。

子供の安全・安心に関しては、社会の危機的子供環境を十分把握いただき、それぞれの団体、もちろん保護者の方、企業の皆さん方、関係機関の皆様方が、日夜、子供たちの安全・安心のために頑張っていたに厚くお礼を申し上げます。

さて、子供たちを取り巻く環境というものにつきましては、それぞれの校区での現状をどう把握するか。ここからまず初めていかなければならないと、こういうふうに思います。

各学校現場、育友会、PTAにおきましては、毎年毎年のことではございますが、子供たちの通学路の交通安全の面からの点検、防犯の面からの点検が行われているわけですが、本年度も、ここに持ってまいりましたが、それぞれの学校で18年度危機管理につきましの点検がなされて、こういう安全マップ等も改訂をそれぞれの地域でしてきたわけですが、それにのっかって、現在それぞれの学校で子供たちの安全確保については頑張ってもらっているところでございます。

子供110番につきましても、先ほど議員からも話題として出されましたが、現在、武雄市内では1,135カ所の子供110番の家というのでできています。これにはまた、固定的なこういう子供110番の家と同時に、移動という視点からの子供110番、これは企業の皆様方、あるいは、何と申しますか、郵便局のああいう方々の御協力というようなもので、そういう動く視点からの子供110番ということでも頑張ってもらっているところでございます。

また、青色回転灯につきましては、現在、武雄市、北方町、それぞれで行っているわけですが、新市になりまして、山内町も一日も早い青色回転灯装着の公用車の巡回ということをお願いをするように、関係の課にもお願いをしているところでございます。

現在、青色回転灯の講習受講者でございますが、749名の方々が受講をさせていただいております。大体、これからもPTAを中心に、あるいは公民館を中心に受講を拡大しようというようなことで頑張ってもらっているところでございます。これからも市民の皆様方、どうか子供たちの安全確保につきましては、これまで以上に御協力をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

私の方から、教育、それ以外について御答弁を申し上げます。具体的なことを申し上げたいと思います。

1点目です。

まず、散歩、ウォーキングであります。今、一部の、例えば川良区であったり、あるいは黒尾地区であったり、これは意識して魔の時間帯である4時から6時に散歩、ウォーキングは見られているところであります。地域の皆さんは、一石二鳥とは言いませんけれども、そういった時間に合わせてウォーキング、散歩をしていただくということを一つ提案として申し上げたい。

それともう一つ、青色回転灯であります。

私自身も講習を受け、私のプライベートの車、あるいは市長公用車にはこれをつけて、みずからやっていきたいというふうに思っております。幹部職員も同じであります。どうか議員の皆様方におかれても、ぜひ講習を受けていただいて、青色回転灯をつけていただいて、自分たちが、我々市のリーダーが守っていくんだということを、議会、執行部合わせて明示していただくことをお願い申し上げまして答弁とさせていただきます。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

今、市長の御答弁にもありましたように、老人会の皆さんを初めとする、魔の時間、夕方の散歩を児童の下校時に合わせていただくことですか、本当に協力をいただいております。

また、先ほど教育長の御答弁にもございましたが、先日の青年会議所主催の市長との懇談会の中におきまして、郵便局の職員の方、とりわけこの場合、配達員の方を指すと思われませんが、協力をいただき、児童の安全パトロール的な役割をお願いする旨の案を市長が話していらっしゃるようでした。私が、そのとき所要で中座して詳細を聞けなかったこともございます。再度、御説明がいただけましたら幸いです。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

私が、去る市長と語ろう会でお話し申し上げたのは、私の具約に載せております動く市役所の制度について、私はこれ職員、あるいは認定のNPOだけでしょうというふうに思っておりますところ、ある郵便局の職員の方から、おいたちもかっててくれんやというメール

が私のところに寄せられてきました。私は、具約を見ていただいてそういった形で自分たちも職務として参加したい、こういう声がありましたので、ぜひオール武雄として、あるいはこれ郵政公社の部分にかかわるかもしれませんが、御協力が願えればと、ありがたいと思って、この前の語ろう会でそのような発言をさせていただいたところであります。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

行政が郵便局に事務委託をするケースは、佐賀市の富士町や大和町などにおいて、住民票や印鑑登録、各証明書を受け取れるサービスを数年前より行っていると聞いているところでございます。こういった子供たちの安全管理に関する面でも大変期待をするものでございます。

さきより申していますように、未来ある子供たちを守るに当たっては、防犯ベルなどの自助努力に頼るのは限界がございます。学校、家庭はもちろんですが、地域社会のすべての大人たちが協力し合って、未来を託すべき宝である子供たちを守っていかねばならないと思います。

地域の方で子供たちを安全に育てるという観点からの試みで、山内町の4地区で、かしの実クラブと呼ばれる公民館などを利用したコミュニティーのサークルが実施されております。武雄市内での似通った取り組み等がございましたら、状況を御説明いただきたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

庭木教育長

庭木教育長〔登壇〕

山内町で取り組まれております、今御紹介のありましたクラブにつきましては、大変子供たちに人気があると聞いております。

武雄市につきましては、地域子ども教室ということで実施をしているということでございます。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

こういった活動、スクールは、先ほども当初申し上げました、いろいろな問題点の中の地元児童の地元の方の認識の問題の解消にもつながると思われまじし、世代間の交流は郷土芸能の伝承や子供たちの安全で健全な成長を促すものとして、ぜひとも前向きに展開をしていただきたいものと思っております。

しかしながら、現実には、婦人会の役員の方や地区の役員の方などが、ほぼボランティアの形で運営をされております。市内全域で講師の巡回等、また、効率的な展開を今後も期待す

るものでございます。

また、登下校時はもちろんでございますが、学校施設内への不審者が侵入するケースなど、緊急時の教員の方の対応も実際にシミュレーション、マニュアル化し、訓練などが必要だと思われませんが、教育委員会での指導等はどのようになっているか、現状をお尋ねいたします。

議長（杉原豊喜君）

庭木教育長

庭木教育長〔登壇〕

子供たちを内から外から守っていく、これは私たち大人にとって最大の責務でございます。学校現場におきましては、不審者の対応、避難訓練ということでそれぞれの教職員の研修の中に位置づけまして訓練を実施いたしておるわけでございますが、平成17年度におきましては100%のことで計画的にやっております。

また、講習会。これは実際、警察の担当の皆さん方に来ていただきまして、さすまた等のこと、あるいは昨年は武内小学校で行いました、ああいう具体的な場面を想定しての講習会、こういうものも行っていると思います。

これにつきましては、4月当初の校長会でも、子供たちを取り巻く環境の厳しさという認識に立って、各学校、取り組んでいくようにという指示をしたところでございます。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

突発的な事件、事故等にも対応できるように、まず第一に子供たちの生命の安全を確保できるように、今後も啓蒙活動によりしくお願いいたしたいと思っております。

続きます小項目の教育環境の格差につきましては、2学期制や空き庁舎の利用に関係することなど、他の議員の質問と重複するところが多うございましたので、割愛をさせていただきます。

続きまして、2番目の商工と地域の振興について質問をさせていただきます。

市長は、42の具約の中においても、武雄市そのものを全国に紹介する手段として武雄ブランドの開発とアピールをうたわれております。現在の取り組み状況と、具体的に候補としてどのようなものが現時点で考えることができるのか、お尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

武雄ブランドの構築について御答弁申し上げます。

何でんかんでんブランドにすぎブランドにならんけんがですね、大体、目安として新武雄市で10項目ぐらいは上げていきたいというふうに思っております。農産品から商工業品、

10品ぐらいをまず上げていきたいと思っています。一つの候補としては、私は、若楠ポークを上げたいというふうに思っております。

と申しますのも、私がびっくり仰天したのは、この若楠ポークが、日本を代表するジョエル・ロブションというフランス料理店が東京にあります。1人単価50千円から100千円という、とても行けないようなところで若楠ポークが卸され、しかも、これが大好評を呼んでいる。私は、これこそブランドのかがみではないかというふうに思っています。

しかし、私もこれは大阪の人から聞いてわかったことであります。地元の人がそれを理解し、それを発信し、それを支援していく、そういったシステムづくりも含めて私は考えていきたいと思っております。

あわせて包装であります。NHKとかじゃなくて、包む包装ですね。これについても、この包装のよしあしで売り上げが10倍から20倍変わるというふうに今言われております。こういった包装も含めて武雄ブランド。もし可能ならば、武雄ブランドと認定できたものについては、そういった包装もあわせて出していければいいなというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

今、代表的な若楠ポークの御説明をいただきましたが、ほかにも先日来の質問の答弁の中にも出てきましたが、京野菜を初めとする農産物のブランド化は、農産物に限らずでございますが、まずは農業経営の安定化、利潤の追求へとつながり、市長の言うところの攻めの農業を目指す上で大変効果のある政策と私も思います。

山内町においては、チンゲンサイも道の駅の盛況も追い風となり、生産者の本当にたゆまぬ努力も実り、昨年は1億円産業となりました。ことしは、武雄市との生産者との部会の合併もあり、ますます発展されているとお聞きいたします。チンゲンサイにとどまらず、新しい農畜産品の試みと質の向上が必要であると思われまふ。どうぞ、ブランドの確立と、ひいては武雄市発展のために事業の推進をよろしく願ひいたします。

また、独自のブランドということで山内町の商工会と同町内にある有田焼工業協同組合の計画、政策によって、ジャパブランドとしての陶磁器の開発、販売が行われました。これは、陶磁器はもちろん、漆器や和紙などの日本の伝統的な製品を、伝統と再生というモチーフにより新たな息吹を吹き込むものでございます。国の平成16年度ジャパブランド育成支援事業としての補助を受け、世界的に著名な工業デザイナーの喜多俊之氏のデザインによるものでございます。現在、国内外で10,000千円から15,000千円程度の出荷をしているこのシリーズは、道の駅黒髪のに隣接をしております野のもてなし料理なな菜の器としても注目を浴びているところでございます。

そもそも陶都有田に隣接する山内町では、現在、60を超える大小の窯元も現存し、後の質

問でも触れますが、歴史的にも重要な位置と地盤を持つところでございます。市長の全国に誇る農業と食と器を全国にアピールするという具約の一つにも呼応するものと思いますが、この事業に対する見解をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

御答弁申し上げます。

私も選挙期間中、花シリーズのこれをいただき、非常に私もびっくりして、まさにこれこそがこれから進めるブランド化の一つの方向性を示したものではないかというふうに思っております。

ただ、ここで注意しなきゃいけないのは、ブランドというのはだれが評価するかだということに思っております。私は、ブランド選定委員会を設けなければいけないと思っておりますけれども、そのときに極力、外の人に、市外、県外の方にきちんとデザイン、例えば、この喜多先生であるとかわかる方、あるいは服部先生のように食に通暁している方がブランドとして認定をし、それを武雄ブランド品として出すといったプロセスが必要ではないかなというふうに思っております。ともすれば灯台もと暗しになりますので、外からの評価というのをそこにしていきたいなというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

2 番浦議員

2 番（浦 泰孝君）〔登壇〕

ぜひとも武雄の産業としての窯業界を以前のような活気のあるものへと導くためにも、また、市長が構想中の、今出ました、服部先生を初めとする食の事業への展開も、重ねて利用の提案をさせていただきたいと思っております。

武雄市を象徴する建築物の一つに温泉の楼門があるわけですが、御存じのように、これは東京駅や日本銀行を設計した辰野金吾氏が設計された近代木造和風建築の傑作であります。

また、現在においても武雄市には武雄出身のすばらしいデザイナーやクリエイターの方も活躍されているとお聞きいたします。建造物に限らない、先ほど市長も申されましたが、特産物の包装紙やいろいろなものに武雄市をデザインの市として、市長も提案されておりますが、今後を期待するものです。この点についての見解をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

私は、既に具約等で申し上げますとおり、このデザインということにさらに力点を入

れて考えていきたいというふうに思っております。例えば、看板であったり、サインであったり、例えば市が出すものであったり、名刺であったり、このデザイン一つで売れたり売れなかったり、あるいは印象に残ったり残らなかったり、このデザインが、言い方は悪いですが、行政が今まで一番不得手にしていた部分だというふうに思っております。

富山県を見て私はびっくり仰天をいたしました。富山県が今、県を挙げてデザインに意識をしています。素材についても、プラスチックとかコンクリートではなくて、その地場の木材を可能な限り加工して、それをサインにしようとしている。しかも、デザインも地元のデザイナーにきちんとやっていただいている。私は、そういったデザインということに目を向け、それを観光戦略であったり、あるいはブランド戦略だったり、そういった中に位置づけていきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

2番浦議員

2番（浦 泰孝君）〔登壇〕

ぜひとも新武雄市をにぎわいとそして夢のある、そして、それらを現実のものとするべく、この事業の推進をお願いするものでございます。よろしく願いいたします。

続きまして、文化財の管理、環境の維持について質問をさせていただきます。

先日、おつぼ山の神籠石付近の保存管理のための予算化を聞いたところでございますが、武雄市にはまだまだ多くの歴史的にも重要な文化財などが現存しております。一つの例には、山内町の立野川内地区にある百間窯がございます。これは、肥前陶磁史の解明のかぎを握ると言われ、陶器製造から磁器へ移行する時期の窯であり、陶磁片から推定しただけでも内容がすばらしいとのことでございます。

そういった意味で、盗掘等もかなり頻繁に行われ、管理が難しいところでございます。また、数名の方の個人名義の土地所有であったこともあり、国指定の史跡でありながら現在まで管理と呼べる対応はできていなかったことはもちろんです。また、今年度より地区へ年間わずか5千円の予算で委託管理がなされているようでございます。年数回の草払いなどの作業を考えてもどうでございましょうか。

また、乳待坊を望むふもとはは広大な堀の跡を残す住吉城の跡地もでございます。これも、武雄の領主、御当主を語る上で重要な歴史の遺産ではないでしょうか。

また逆に、先日、同僚議員からも触れられました、黒髪山の大蛇退治に出てくる万寿姫を祭ったとされる西川登の万寿神社があるように、武雄市に点在する文化財にはそれぞれに深いかかわり合いがございます。これらは、再度十分な調査の見直しと、できる限りの維持管理をすべきものと提言をさせていただきたいと思うのですが、この件に関して所見をお伺いしたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

まず、百間窯のことについて御説明を申し上げたいと思います。

この地区については、教育長を初め私ども、実際に現地を見させていただきました。議員おっしゃいましたように、非常に盗掘されてひどい状況でございます。管理上、どんなふうにして対応していくのかというのは、私どもにとりましても非常に頭の痛い問題でございます。そう思いながら現地を歩かせていただきました。

ここの管理につきましては、今までは地権者の方ということをお願いしておりましたけど、新市になりまして、地元の区の方で管理をしていただいた方が一番いいということで、非常に些少な額でございますけれども、今までどおりの額で委託の方をお願いいたしております。

ほかに文化財の保護に関する補助金、あるいは委託金、これにつきましては、今までの市町で随分違います。この調整については、本年度中に調整をいたしまして均衡を図っていきたいというふうに思っております。

それから、新市の中にもいろいろ史跡がございますし、住吉城も見させていただきました。非常に見事に堀の跡も残っておりまして、今後どう整備をしていくかというのは私どもにとっても課題だというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

文化遺産、あるいは歴史遺産の保全活用を図ることは、私が求めている、また理想としてあるぬくもりのある元気な都市の裏腹の風格ある都市の構築に向けて、ぜひ必要だというふうに思っております。

ただ、何でんかんでん保存のための補助をしたり、あるいはいろんな支援をしたりということは今の財政事情から許されているわけじゃありませんので、ここはめり張りをつけて、保存すべきものはきちんと保存をし、活用すべきものは活用するというのでめり張りをつけて、その価値が本当に歴史的に残す価値があるのか、そういったものについてはきちんと、私はおつぼ山の神籠石のようにやっていきたいなというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

2 番浦議員

2 番（浦 泰孝君）〔登壇〕

大変財政難の折、市長が答弁ございましたとおり、厳しい現状でございますが、めり張りをつけた維持管理の方をよろしくお願いいたします。

また、かつて山内町は町全体を自然公園とみなせるようにと、整備環境の維持を町民みんな

なが意識してまいりました。

そのような中、2年ほど前に、道の駅に近いバイパスの通りにパチンコ店の進出が決まり問題となった事件がございます。町民の有志の方が、子供たちの環境への影響を懸念したり、黒髪山を望む自然公園の町の景観を損ねることを心配され、署名活動などもされました。

しかし、契約が成立し、建設が進んだ時点での交渉は、現実のものとして損害賠償の発生や、それ自身を制約、規制はできないのが現状でございます。

また、同じ例として、昨年の商工会の青年部と女性部主催による知事との懇話会の中でも、基山町でしたか、佐賀の東部地区の方でも同じような事例がございまして、古川知事に対しての県の方から規制、制約などができないかとの質問がありました。もちろん、残念ながら答弁はノーであり、各自治体において環境や景観の条例などにより規制をかけるしかないという回答でございました。

私は、パチンコ店などの遊技場、産業自体を否定するものではございませんし、一企業として見たとき、少なからず経済的な効果は出していただけるものと認識はしております。

また、山内の場合も商業地として出店もふえているバイパスの通りであり、学校や病院などの施設からの距離は十分に離れておりました。景観、環境を考える上での話題としては、先日、新聞にも取り上げられた黒髪山の天童岩のロッククライミングの問題もそうであります。

ただ、今後は新武雄市を樋渡市政のもとでつくり上げていく上で、自然景観を守っていくべき地域や歴史ある町並みなどを維持していく場所などにおいては、きちんとした審議の後、環境、景観を守るために建造物や看板などを規制する旨の条例の制定が必要だと思われま。きょう午前中の質問の答弁の中にも市長から御提案がありました。再度、御説明をお願いいたします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

一言一句同じことが言えるかどうか自信がありませんけれども、私の方から御答弁申し上げます。

私は、景観は、これもまた、めり張りをつけて守るべきだというふうに思っております。例えば、市内全域を景観の重点地区にしたら、何にも出店ができなくなる。

したがって、めり張りをつける観点から私は、午前中申し上げたとおり、三つ、今のところ考えております。一つは、黒髪山周辺、一つは武雄の温泉街、それと、ちょっとこれは難しいかもしれませんが、御船山周辺であります。ここの地区に、新たにけばけばしいネオンだとか看板だとかで出てこられるところについては、罰則付きの条例をぜひつけていきたいというふうに思っております。

あわせて、これは議会との今後の審議になりますけれども、可能な限り、当該地区に出ておられるところについては、行政指導としてそこを外していただく。看板であったりとか、ネオンであったり、そういったことが法技術的にできるかどうかも含めて、私は検討していきたいというふうに思っております。

後段の部分はなかなか難しいとは思いますが、もう少し時間をいただいて勉強させていただければというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

2 番浦議員

2 番（浦 泰孝君）〔登壇〕

再度の御答弁ありがとうございます。今後のまちづくりを考えたとき、市長が財源の確保のために精力的に誘致されるであろう企業を含めた工業、商業地帯、また勇壮な自然環境の維持を堅持すべき地域、そして地産地消を初めとする食と密接な関係を持つ農業を優先とする地域、また、学校や病院、施設など文化的な地域など、市長が申されるように、めり張りのある、整然と、そして特色を生かしたまちづくりを提案させていただきたいと思っております。

最後に、末端行政の整備とこれからについて質問をさせていただきます。

現在、武雄市の行政の末端の職として区長、駐在員の方がおられます。地域に密着した行事の消化や市の行政との連絡、連携など多忙をきわめておられます。自治体の規模も大きくなり、山内、北方、両町は支所となり、負担もふえられております。また、武雄町の中には1,000戸を超える地区もございますし、反面、周辺部の10数戸の宅地がある地区もございます。歴史として水利組合や、農村部の方では特に水利組合や生産組合との兼ね合い等もあり、単純な問題ではございませんが、行財政の改革の一端として加わり、またはそれぞれ皆様の業務の水準化など今後の末端行政のあり方について御説明をいただきたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

大庭総務部長

大庭総務部長〔登壇〕

お答え申し上げます。

議員おっしゃいますように、行政区の規模におきましては世帯数が最大の1,000世帯以上、最小のもので13世帯というような、非常に格差があることは事実でございます。

ただ、行政区につきましては、今日まで長い間の歴史と伝統を受け継いでいる組織でもございます。地域住民の皆様の結束、連帯感、共同体意識などをもって任意的に形成され、存続しているものでございます。

また、規模に大小の格差があっても、あくまでも自主的な組織でございまして、その独自性を尊重されるべきものであるというふうに考えております。規模の小さい行政区は、地域の安全・安心の確保、環境保全など単独では自主的活動が制限され、困難な場合もあろうか

と思います。

しかし、連帯感をもとに一致協力して活動されております。場合によっては、他の行政区と連携していくことも必要であるかというふうに思っております。今後、行政といたしましても、できる限り自主的活動の支援をして、これまでの市と行政区の協力関係を維持してまいりたいというふうに考えております。

議長（杉原豊喜君）

2 番浦議員

2 番（浦 泰孝君）〔登壇〕

駐在員の方を初めとする各地区の役員の方たちは、本当の意味で市民と行政への窓口として日々尽力をしていただいております。今御答弁にもありましたが、今後も円滑な連携ができるように、さらなる改善、協力の要請を求めるものでございます。よろしくお願いいたします。

最後に、まとめとして申し述べさせていただきますが、先日の同僚議員からの固定資産税の引き上げに対する市長の答弁の内容として、厳しい財政状況の中での貴重な財源としての位置づけ、そして、対面にある市民への福祉サービスとの連動、影響を考えた上での審議を前提とした対策案に対して同意を感じたところでございます。

今後、樋渡市政を貫いていかれる上で、すべての人々、すべての団体等からコンセンサス、同意、理解を得ることはできない場面に直面されることが多々あるかと思えます。

しかしながら、市民の皆様はオープンに引かれた行政執行のもと、何がどうしてどれだけ必要であり、きちんと御説明をすれば、必ず御理解をいただけるものと私は思います。そして、持ち前の行動力と国の方で培われた経験を生かし、武雄市民にこたえるべく今後も邁進していただくことを期待して、私の一般質問を終わらせていただきます。